

通信小海

ハロウィンの危険性

牧師 水草修治

近年十月末日はハロウィン祭だと宣伝されるようになった。オレンジ色のカボチャをくりぬいて作ったお化けの顔のランプ飾りやお化けの仮装パーティ用品なども、デパートでは楽しげに演出して売り出されている。また、他方おどろおどろしい呪術や恐怖体験を集めた『ハロウィン』という雑誌もある。ハロウィンとはなにか？

米国では「この日になると幽霊やお化けに変装した子どもたちが」お菓子をくれなきや、いたずらするぞ」と言ってお菓子を回る風習がある。ところが二十年ほど前から、遊びがエカレイトして少年たちが家々のガラスを割ったり放火し

「今月のみことば」

「愛がなければ、なんの役にも立ちません。」第一コリント十三:三

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治

会堂・牧師館 長野県南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七

〒三八四一一 二二 二六七九二四七七六
郵便振替 五三 六一六八三

たりする事件が頻発し、それに対抗しておとなたちが、ガラスを入れたケーキを子どもに与えて大怪我をさせることまで起こっている。数年前、日本人留学生H君がハロウィンで仮装して民家を訪ねたところ、おびえた家主に「フリーズ（止まれ）！」と言われたのに理解できずに進んでいったところ、射殺されてしまうという痛ましい事件があったのにはこういう背景がある。昨秋も日本人留学生がハロウィンで大怪我をしたというニュースを聞いた。ハロウィンにはこの種の暴力・傷害事件がつき物なのである。

ハロウィンをキリスト教の祭りであると誤解している人がいるが、本来は古代ヨーロッパのケルト人のドルイド教の祭りだった。ハロウィンは、木々が枯れる冬にふさわしく、死神と邪悪な霊をほめたたえる「死霊の祭り」だった。二世紀頃にキリスト教にハロウィンの習慣が混入したと言われるが、聖書に忠実な教会ではハロウィン

見晴台の教会へどうぞ

(小海駅東の丘の上)

地図

集会あんない

日曜日 サンデースクール 午前八時四五分

朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後七時半時から九時

水曜日 祈り会 午前十時半と午後七時半

*海尻・川上でも毎月家庭集会あり。

*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

祝わない。だが一部の教会や、格別、悪魔教会(そんなものが実在するのです)では、ハロウィンが盛大に祝われている。

国際化の時代にあつて、自国の文化のみに凝り固まらないで世界中のいろんな文化を理解する広い心を子どもたちのうちに育てることは大切なことである。おそらくそういう認識で日本の学校でもハロウィンごっこをしているのであろう。しかし、何事であれ教育に取り入れるときには、それが有益か有害かをよく吟味する必要がある。たとえば「クリスマス精神」は愛と慈善の精神であるから体験することには意味もあろう。しかし、死神と邪悪な霊をたたえ、傷害事件まで誘発しているハロウィンをも日本の子どもたちにわざわざ体験させなければならぬ教育的理由を筆者は見出すことができない。近年頻発する留学生たちの痛ましい事件を思えば、小学生にはハロウィンを楽しませるよりも、むしろ、その危険性を知らしめることのほうに意味があるようにさえ思えてくるのであるが、読者はいかが考えられるだろうか。

山谷にお米を

信州ではあの厳しい残暑のおかげで、お米が結構とれたというニュースが流れて感謝なことでした。山谷はこれから冬に向かって冷たい風が吹き、厳しい季節になります。倉庫の古米をどうぞお寄せください。

(連絡先) お米と調味料(しょうゆ・塩だしのもと)、毛布を必要としています。大根・ニンジンなども助かります。

山谷農場事務局(藤田 寛)

電話090・1436・6334

ﾌｻｸﾞ042・786・2088

ﾈｰﾙ nyoro@beige.ocn.ne.jp

カンパニ振替 一四 四五三七九六

山谷農場

福音指圧教室

いよいよ冬支度ですね。みなさまお元気ですか。肩こり、腰痛、ひざの痛みなど、おたがいに押しあいこしてなおしましょう。ご夫婦・親子で見えれば、家でもできますから便利です。

教えてくださるのは、「指圧の心、母心」で有名な波越学園卒業の専門の指圧の先生です。

日時十一月十六日(日)

午後二時から三時半

場所:教会堂

電話九二・四七七六

持ち物バスタオル、タオル、くつした

〔朴永基先生のメッセージ〕

妻は天の助け

その後、神である主は仰せられた「人がひとりであるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助け手を作ろう。」

創世記一章十八節

十月には朴永基師を迎えて「幸福な家庭生活」といつ講演をしていただきました。はじめの方たちも多く集まってくださいましたが、都合がつかなかった方たちのために、特に印象に残ったことを抜粋して、この紙面でお分かちしたいと思えます。

神様は最初に男性アダムを造られたとき、彼が一人であるのはよくない、彼には助けが必要であると思われました。そこで、神様はご自分のいわば代理として、彼に妻をお与えになりました。

ですから、妻は神様から夫を助けるようにという任務をいただいて、夫のもとに派遣されていることをよくよく自覚することです。神様から派遣された助け手だとはなんと光栄なことでしょう。その務めの光栄を思つて

夫を助け、家族を助けましょう。この神から派遣された助け手としての自覚に欠けていると、「ああしてほしい、こうしてほしい。」

と求め、不平ばかりをいうことになってしまいます。しかし、自分が神様の代理としてむしろ夫を助けるために遣わされていることをよくわきまえた奥さんがいる家庭は幸福になるでしょう。

他方、夫は夫で自分のそばにいるこの妻が、ただの助け手ではなく、神様から遣わされた助け手であることをよくわきまえることが必要です。神様が遣わしてくださった助け手であることを思えば、奥さんをお願いがしるにしたり、軽んじたりすることはないでしょう。そんなことをしたら神様に叱られてしまいます。夫は、自分の妻を神様が遣わしてくださった「天の助け」として、たいせつにし尊敬することです。

ノウハウではなく

夫婦関係について、子育てについていろいろな知恵やノウハウといつものがテレビでも書物でも雑誌でもいろいろと述べられています。それだけ悩んでいる人が多いといつことであり、解決策も決定的なものがないといつことでしょ。

根本的には家庭における生き方はノウハウを知らばなんとかなるといつ種類のことはないのです。家庭を創造なさったのは、創造主なので、神様のもとに家族が立ち帰ることがたいせつなのです。

夫は「神様が私にこの妻を与えてくださいました。」と信じ、妻は「神様が私にこの夫を与えてくださいました。」と信じ、親は「神様が私にこの子を与えてくださいました。」と信じ、子どもは「神様が私にこの父を母を与えてくださいました。」と信じることが一番たいせつなことなのです。そうすれば不平でなく感謝、憎しみでなく愛情が湧いてくることではないでしょうか。失望は希望に変わってくるのです。

神の視点からの

人生観

紀元前千八百年ころ、エジプトの王朝に

一人の有能な宰相がいました。名をヨセフといいます。ヨセフは珍しい経歴の持ち主で、宰相となる前は囚人でありその前は奴隷でした。彼は十七歳のときに、兄たちに奴隷として売り飛ばされてカナンの地から、連れて来られてきたのです。

ヨセフは十二人兄弟の下から二番目で、父の名はヤコブ。ヤコブには四人の妻がいて、そのこと自体問題ですがそれはさておき、亡き最愛の妻ラケルが彼に遺していったのが、このヨセフでした。ヤコブはヨセフを溺愛しました。兄息子たちの目に付くほどにえこひいきしたのです。兄息子たちには、ボロ服ばかり着せておいて、ヨセフにだけは高級品を着せてやり、ことあるごとにヨセフを特別扱いしまし

た。ヨセフはヨセフで、特別扱いされることを当たり前のように考えて、兄たちを軽んじるどころがありません。また折々、兄たちの悪い噂を父ヤコブの耳にいました。それで兄たちははいよいよヨセフを憎むようになってしまったのです。「ヨセフの野郎、いい気になりやがって。」というわけです。

そんなある日、ついに悲劇が起こります。兄たちは野でヨセフを捕え、殺害しようとして謀りました。しかし捕まえてみるとさすがに弟を殺すことは恐ろしくなつてしまいます。それで通りがかりの隊商に売り飛ばしてしまいました。代金わずか銀二十枚。

以後、ヨセフは異国エジプトで奴隷として暮らすことになりました。しかし、神がヨセフとともにいてくださいましたから、ヨセフはどんな苦境に陥っても、自暴自棄になることなく、その置かれた立場で誠実に務めを果たして生活をしたのです。奴隷として主人の家にいる時は主人に忠実に、冤罪にあつて投獄されたときも、自分を陥れた人に対する憎しみ

のとりこにならないで、看守も感心する模範囚になりました。そうして、数奇な導きで宰相となると、宰相として誠実にその務めを果たしました。

おりしも大ききんが起こり、カナンの地のヨセフの家族に死が迫りました。そこでヨセフの兄たちは食糧を求めてエジプトにやって来て、宰相ヨセフと面会することになります。兄たちはまさか目の前の宰相が自分の弟だとは思っても寄リませんが、ヨセフの方はすぐわかりました。今こそ復讐のチャンスです。自分を奴隷に売り飛ばした冷酷な兄たちです。ヨセフが正体を明かすと兄たちは恐れおののきました。が、ヨセフは言いました。

「神はいのちを救うために、あなたがたより先に、私を遣わしてくださいました。今私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、実に、神なのです。」

もしヨセフがただ人間的な視点で兄たちを見ていたら、復讐の鬼となっていたでしょう。しかし、彼は神の視点で自分の人生を見たのです。ここに人生の秘訣があります。人間的視点でなく、神の視点で自分の人生を見るなら、あなたにも祝福が訪れます。